

南部サイエンスパーク年間報告書

2025

SOUTHERN TAIWAN SCIENCE PARK  
ANNUAL REPORT





2025

SOUTHERN  
TAIWAN  
SCIENCE  
PARK





南部サイエンスパーク年間報告書

2025

# CONTENTS

## 目次

局長ご挨拶 ——— 4

◆ 1 スマートアイランド、未来を創造する ——— 6

産業の頂点、知が集まる南部サイエンスパーク 6

的確な誘致、広がるクラスター 11

展示会を架け橋に、新たな絆を 16

## ◆ 2 高度人材が結集し、活力を注ぐ ————— 19

産学医連携、絆を築く	19
人材育成、人材確保	21
根付く学力、卓越した実験中学	23

## ◆ 3 強固な基盤、サステナブルな未来 ————— 25

安全性の向上、働きやすい職場環境	25
省エネ浄水、低炭素化によるネットゼロの実現	27
環境に優しく、持続可能なサイエンスパーク	29

## ◆ 4 深まる文化、豊かな暮らし ————— 31

機能の最適化、設備の革新	31
多様なライフスタイル、地域コミュニティとの交流	32
文化と歴史の継承、地域社会との共生	35

## ◆ 5 今後の展望 ————— 37

## ◆ 6 パークの沿革 ————— 38

局長ご挨拶

# 智の集結：南部サイエンス パーク30周年 南台湾を先導する存在

2025年、南部サイエンスパークは30周年という大きな節目を迎え、再び輝かしい新たな歴史を刻みました。パークの売上高は3兆元に迫り、従業員数は9万8000人を突破しました。かつて一面サトウキビ畑だった場所から始まった南部サイエンスパークは、ハイエンド半導体製造と人工知能アプリケーションの開発を世界的に牽引する重要な拠点へと大きな変貌を遂げました。この栄誉は、単なる数字上の成長にとどまるだけでなく、企業の長期的な革新力、学術研究機関による継続的な研究開発能力、そして中央政府と地方政府の連携による確固たる決意を体現するものです。

国家が推進する「南台湾シリコンバレー推進プログラム」及び「AI新十大建設」という全体的な枠組みの下、南部サイエンスパークの開発の勢いは拡大し続けています。パークの区域は嘉義、台南、高雄から屏東へと拡大し、パークの各新設・拡張プロジェクトは計画通りに、かつ高い品質で着実に進展しています。私たちは、半導体を原動力として、「産業のAI化」と「AIの産業化」を双軸に推進し、あらゆる産業のスマート・トランスフォーメーションを促し、台湾を「人工知能の島」とする国家ビジ



ョンの実現に向け、邁進しています。ハイテク産業は南部で根付き発展を遂げ、強靱な技術産業コリドーを構築するだけでなく、多様で安定した質の高いキャリアパスを生み出し、南部の学生が故郷で夢を実現し、家族に寄り添い、「台湾に根ざす」という深い決意を果たすことを可能にしています。

南部サイエンスパークの価値は、常に土地への敬意と持続可能性への責任感に基づいて築かれています。2025年末までに推進が承認された「沙崙生態科学園區」は、テクノロジーの発展と自然環境の共存共栄を象徴する重要なマイルストーンです。私たちは、科学的手法を用いて生物多様性を保護し、研究開発の革新と生態系保全を両立させたモデルケースを構築し、人材が安心して身を投じ、自然と都市が調和して共存できる持続可能な環境を整えることで、テクノロジーの発展が真に次世代の福祉に寄与する力となるよう努めています。

30年という歴史的な節目に立つ南部サイエンスパークは、「製造の拠点」から「研究開発と設計の中核」へ、そして産業クラスターからAI駆動のイノベーションエコシステムへと進化を遂げています。展望としまして、今後も企業を支える強力な後ろ盾となり、グリーン・トランスフォーメーションとデジタル・トランスフォーメーションの双軸を深化させ、コンピューティング・インフラを強化し、将来を見据えたアプリケーション機能の展開を推進してまいります。南部サイエンスパークは、幸福で住みよい街を目指し、地域社会と共栄し、環境と共存する、世界的なテクノロジーパークのモデルとなるよう着実に歩みを進めてまいります。

局長

鄭秀斌

2026.3

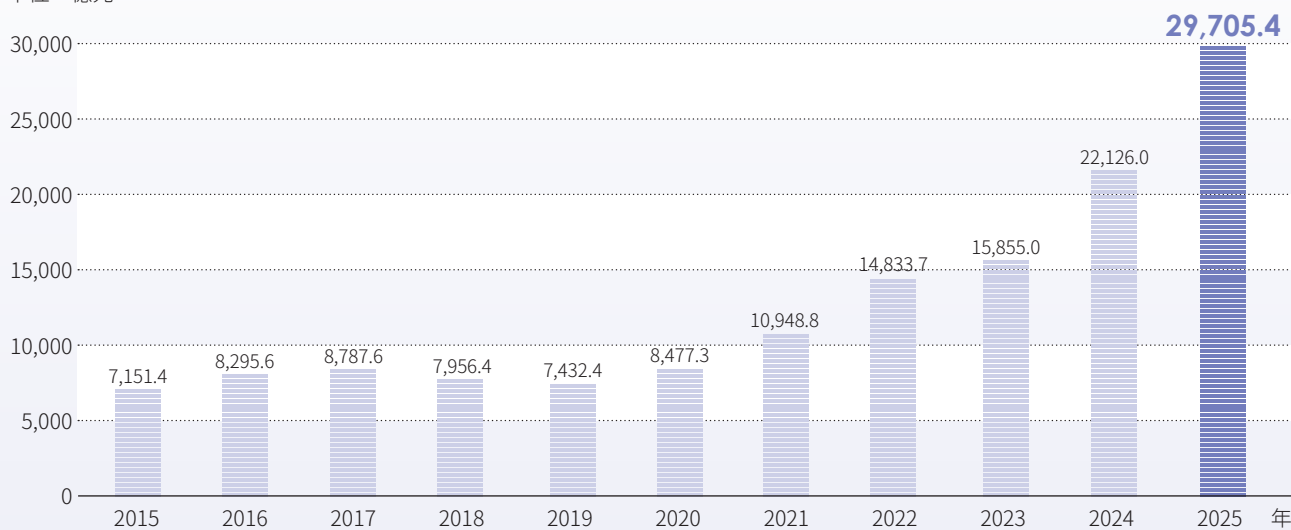
# 1 スマートアイランド、未来を創造する

## 産業の頂点、知が集まる南部サイエンスパーク

世界的なAIブームの高まりを背景に、南部サイエンスパークは2025年に目覚ましい業績を達成し、前年比34.3%増の2.9兆台湾元を突破し、3兆台湾元の大台に迫りました。産業クラスターの引き寄せ効果もあり、新設の橋頭園區、嘉義園區、屏東園區からの40社を含め、企業296社の入居が承認されました。パークの雇用者数は9万8513人に達し、着実に増加し続けており、過去最高を更新しました。

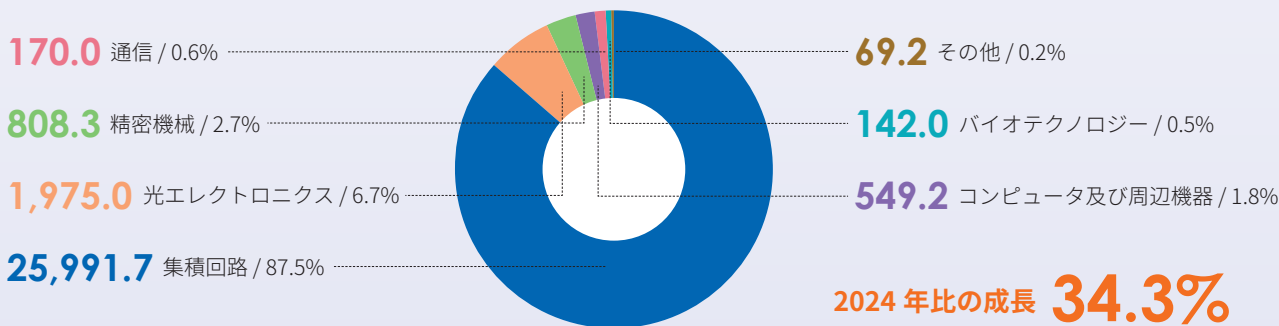
### 歴年売上高

単位：億元



### 各産業の売上高

単位：億元



2024年比の成長 **34.3%**

総売上高

**29,705.4** 億元

### 各産業の承認済み企業数

単位：社

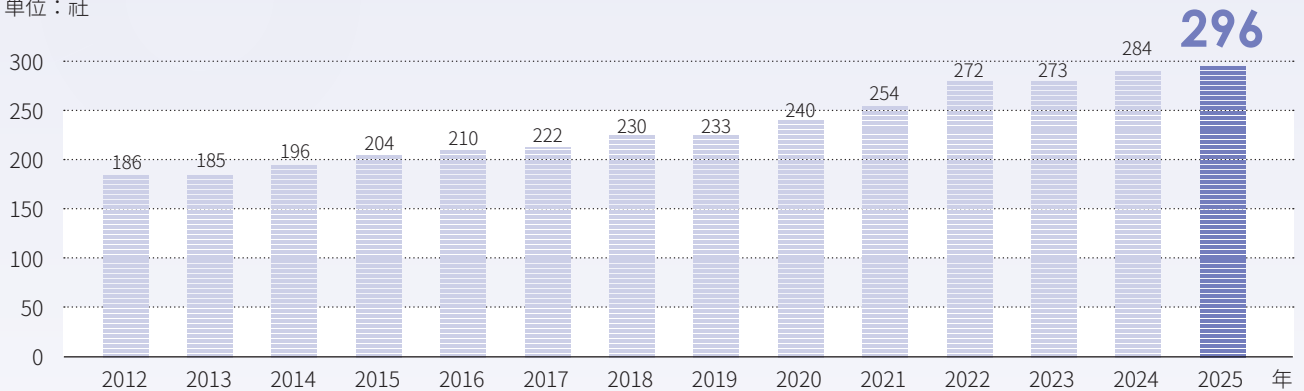


- 44社 ● 集積回路 / 14.9%
- 79社 ● 精密機械 / 26.7%
- 49社 ● 光エレクトロニクス / 16.6%
- 84社 ● バイオテクノロジー / 28.4%
- 12社 ● コンピュータ及び周辺機器 / 4.0%
- 12社 ● その他 / 4.0%
- 16社 ● 通信 / 5.4%

全企業数 **296** 社

### 歴年累計承認済み企業数

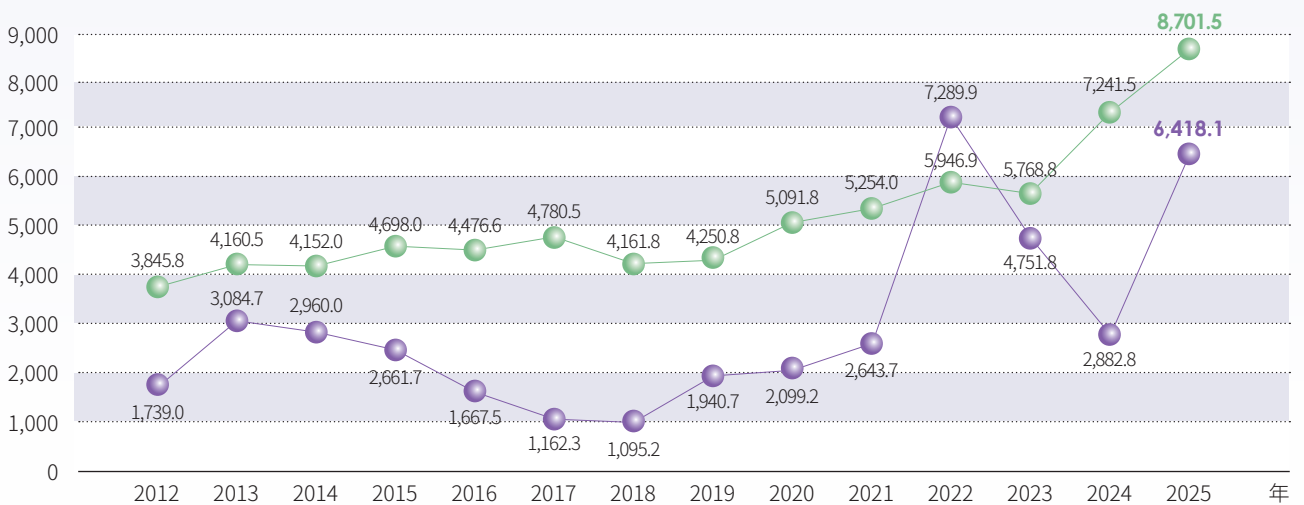
単位：社



### 歴年輸出入額

単位：億円

● 輸入額 **6,418.1** 億円 ● 輸出額 **8,701.5** 億円



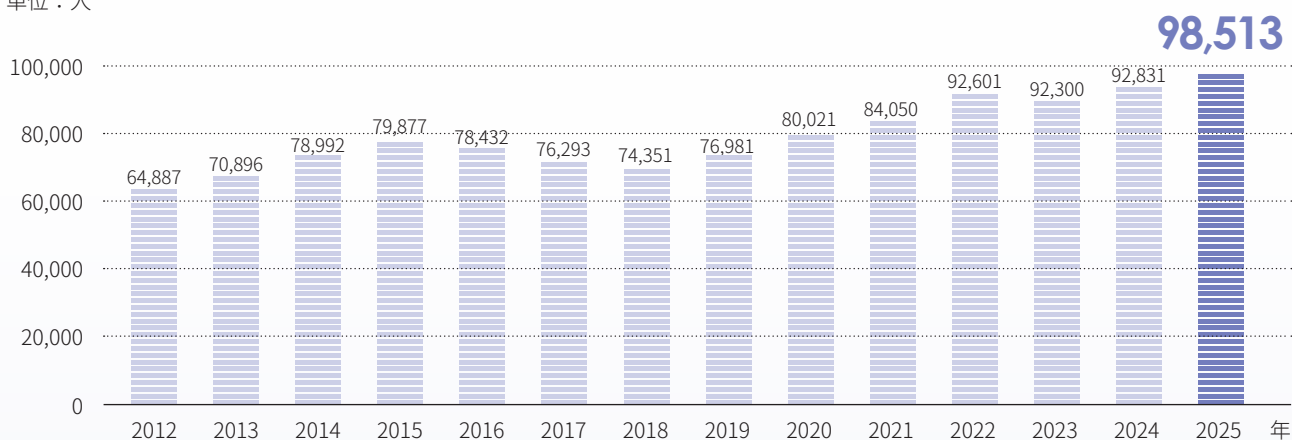
総貿易額 **15,119.6** 億円

2024年比の成長 **49.3%**



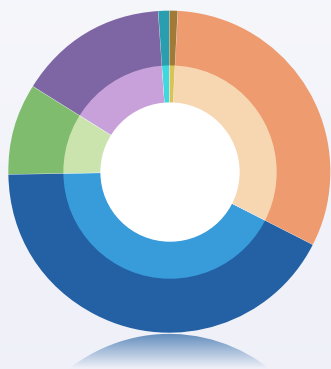
## 歴年従業員数

単位：人



## 従業員の教育レベル

単位：人



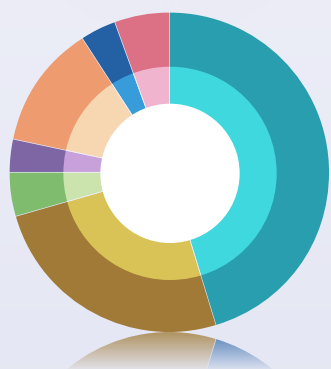
- 42.2% ● 学士 / 41,596 人
- 31.6% ● 修士 / 31,130 人
- 15.1% ● 高等学校 / 14,858 人
- 9.2% ● 専門学校 / 9,070 人
- 1.0% ● 博士 / 943 人
- 0.9% ● その他 / 916 人

総数

98,513 人

## 各産業従業員数

単位：人



- 45.3% ● 集積回路 / 44,634 人
- 25.3% ● 光エレクトロニクス / 24,937 人
- 4.7% ● コンピュータ及び周辺機器 / 4,582 人
- 3.1% ● 通信 / 3,104 人
- 12.5% ● 精密機械 / 12,320 人
- 3.7% ● バイオテクノロジー / 3,636 人
- 5.4% ● その他 / 5,300 人

総数

98,513 人

## 南部サイエンスパークの各園區の運営概況

## 台南園區 / 1,127.7 ヘクタール (台南第三期 84.5 ヘクタールを含む)

 2025 年売上高 <b>28,551.3</b> 億円	 従業員数 <b>77,216</b> 人	 承認済み企業数 <b>155</b> 社
 貸出可能面積 <b>571.2</b> ヘクタール	 すでに貸し出されている面積 <b>566.8</b> ヘクタール	 借地率 <b>99.2</b> %

## 進捗状況

台南園區第三期における公共事業開発が進められる中、工場建設用地 38.9 ヘクタールのうち、企業の急増する進出需要に応えるため、30.5 ヘクタールを前倒して提供し、インフラ整備と工場建設の同時並行を実現しています。

## 高雄園區 / 567.0 ヘクタール

 2025 年売上高 <b>1,153.5</b> 億円	 従業員数 <b>15,121</b> 人	 承認済み企業数 拡張企業数 <b>101</b> 社 <b>2</b> 社
 貸出可能面積 <b>246.5</b> ヘクタール	 すでに貸し出されている面積 <b>230.2</b> ヘクタール	 借地率 <b>93.4</b> %

## 橋頭園區 / 262.4 ヘクタール

 2025 年売上高 <b>0.6</b> 億円	 従業員数 <b>268</b> 人	 承認済み企業数 拡張企業数 <b>26</b> 社 <b>1</b> 社
 貸出可能面積 <b>14.3</b> ヘクタール	 すでに貸し出されている面積 <b>14.3</b> ヘクタール	 借地率 <b>100</b> %

## 進捗状況

橋頭園區における公共事業開発が進められる中、工場建設用地 155.4 ヘクタールのうち、企業の急増する進出需要に応えるため、14.3 ヘクタールを前倒して提供し、インフラ整備と工場建設の同時並行を実現しています。

## 嘉義園區 / 177.6 ヘクタール (嘉義第二期基地 89.6 ヘクタールを含む)



### 進捗状況

- 2025.6.13 第一期基地配水池建設工事が着工
- 嘉義園區における第一期基地の公共事業開発が進められる中、工場建設用地 35.3 ヘクタールのうち、企業の急増する進出需要に応えるため、25.8 ヘクタールを前倒しで提供し、インフラ整備と工場建設の同時並行を実現しています。
- 嘉義園區第 2 期については、計画中です。

## 楠梓園區 / 182.6 ヘクタール



### 進捗状況

楠梓園區第一段階 29.8 ヘクタールにおける公共事業開発が進められる中、企業の急増する進出需要に応えるため、22.8 ヘクタールを前倒しで提供し、インフラ整備と工場建設の同時並行を実現しています。

## 屏東園區 / 73.5 ヘクタール



### 進捗状況

屏東園區における公共事業開発が進められる中、工場建設用地 38.2 ヘクタールのうち、企業の急増する進出需要に応えるため、6.6 ヘクタールを前倒しで提供し、インフラ整備と工場建設の同時並行を実現しています。

## 沙崙園區 / 531.8 ヘクタール

### 進捗状況

2025.12.30 設置計画案は行政院によって承認され、推進されています。

## 的確な誘致、広がるクラスター

### 企業誘致による資金導入

2025年、南部サイエンスパークには新たに20社が参入し、投資総額は322.3億円に達しました。そのうち4社は集積回路産業で、投資額は230.6億円と、全体の7割以上を占めています。これらの企業のうち10社は精密機械産業で、その投資額は62.8億円に達しました。また、4社はバイオテクノロジー産業で、投資額は4.9億円にのぼります。残る2社のうち1社はコンピュータ周辺機器産業で、投資額は20億円、もう1社は光エレクトロニクス産業で、投資額は4億円となります。さらに15社による増資が行われ、増資額は39.7億円に達し、投資・増資の合計額は362億円に達しました。

### 六大産業クラスターの概要

#### 集積回路産業クラスター

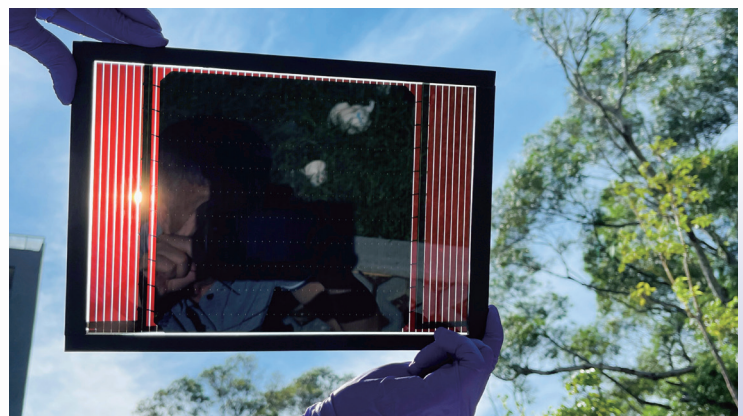
南部サイエンスパークは世界で最も完全なウエハファウンドリ産業のエコシステムを有しており、台湾積体回路製造、聯華電子等の主要大手メーカーによる牽引のもと、上流のIC設計、材料、設備、部品、検査及びパッケージングに至るまでのサプライチェーンの垂直統合の形で入居を促しています。なかでも、メルク、ラムリサーチ、東京エレクトロン及びインテグリス等の有名外国企業は投資額を上乗せしています。2025年、台湾積体回路製造の楠梓2ナノメートル工場は量産を開始し、嘉義と台南の先進的なパッケージング工場も相次いで工場登記を済ませ、設備の搬入を開始しました。さらに、日月光、ナルコ、昱鐳応用材料、三福化工の材料・パッケージングテストメーカー4社を新たに誘致し、投資額は230.6億円に達しました。



ナルコの「ECOLAB 3D™水管理デジタルプラットフォーム」

#### 光エレクトロニクス産業クラスター

南部サイエンスパークは、完備されたTFT-LCD産業の垂直統合サプライチェーンを強みに、次世代ディスプレイ技術と半導体の分野横断的な応用を積極的に推進しています。2025年、新たに威日光電を誘致し、ペロブスカイト太陽電池の研究開発と製造に4億円が投資され、パークの技術高度化とグリーンエネルギーの展開に新たな勢いをもたらしました。



威日光電と台湾鈣鈦礦が共同開発した「ペロブスカイト/シリコン・タンデム型太陽電池」

## 精密機械産業クラスター

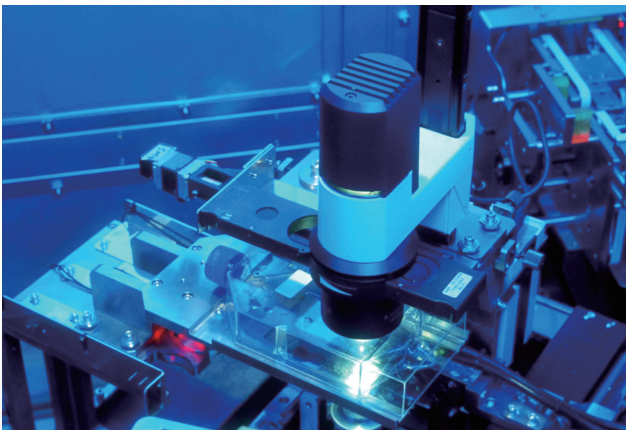
南部サイエンスパークの精密機械産業の発展は、大手半導体・光電子メーカーによる投資と工場建設に伴い、サプライチェーンの集積効果が形成されています。主に自動化・試験装置を製造しており、パーク内の集積回路、光エレクトロニクス、航空宇宙産業が必要とする新プロセスおよび自動化装置を支援するとともに、AI制御とデジタルツイン技術の導入を加速させ、設備のインテリジェント化を加速し続けています。2025年、鴻海、キヤノン、原子精製、亞立欣など10社を誘致し、投資額は62.8億元に達しました。



原子精製の「枚葉式ALD装置」（左）、亞立欣の「SCADAシステム用のRTUリモートテレメトリユニット」（上）

## バイオテクノロジー産業クラスター

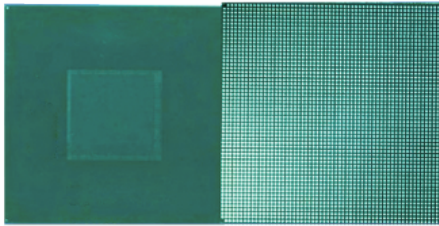
南部サイエンスパークのバイオテクノロジー産業は、ワクチン、製薬、検査試薬、歯科、整形外科、スマート医療機器、美容医療等を基盤に、半導体及びICT産業の強みを組み合わせ、異分野融合による発展を推進し、ハイエンド医療機器及びデジタル医療等のプレジジョン・ヘルス産業を積極的に展開しています。同時に、南部サイエンスパークはバイオ医薬品の革新技術、細胞治療、エクソソーム、再生医療の研究開発への投資を継続しており、AIスマート製造に関連する応用技術の導入を段階的に進めています。2025年、信天翁生物、高材生醫、澄交、網資の4社を新たに誘致し、総投資額は4.9億元に達し、パークのバイオテクノロジー産業能力がさらに強化されました。



信天翁の「自動細胞光学検査装置」（左）と高材生醫の「骨補填材」（右）

## コンピュータ及び周辺機器産業クラスター

南部サイエンスパークのコンピュータ及び周辺機器産業は、AIとハイパフォーマンス・コンピューティングのトレンドに即し、サーバーやネットワーク機器のハードウェアとソフトウェアの統合に重点を置き、「産業のAI化とAIの産業化」の推進に尽力しています。2025年、佰鼎などの企業を新たに誘致し、投資額は20億元に達しました。緯穎、鵬鼎、鈺邦、亞達、智崴といった大手企業と共に、パークはデジタルトランスフォーメーションの推進力を継続的に強化しています。



佰鼎科技のフリップチップボール  
グリッドアレイ (FCBGA)



緯穎の「OCP認定高拡張性マルチノードサーバー」

## 通信産業クラスター

南部サイエンスパークの通信産業クラスターには、智邦、国巨、啓基などの大手企業が拠点を構えています。AIネイティブネットワーク、6G、低軌道衛星などの次世代トレンドを見据え、通信と半導体の異分野融合を積極的に強化することで、通信産業クラスターを拡大し、世界の先端産業との連携を図っています。



智邦科技のエッジコンピューティングサーバー

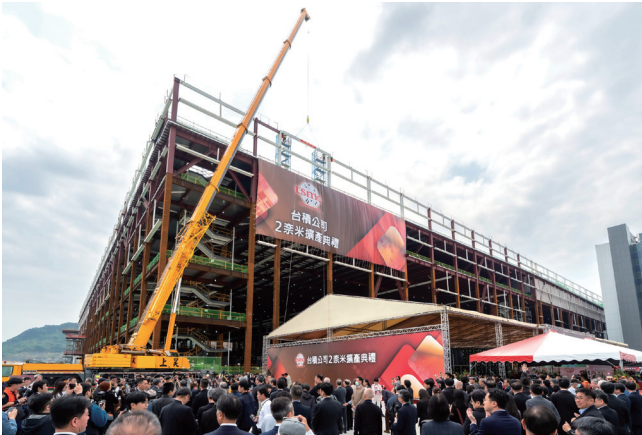


2025.1.21凱舟濾材、本社ビルの起工式

## 活発な投資による南台湾テック・コリドーの強靱化

### 凱舟濾材の本社ビルが着工

1月21日、凱舟濾材は橋頭園區において本社ビルの起工式を挙行了しました。同社は、バイオメディカルグレードの改質活性炭などの特許ろ材技術を有しており、高い親水性と除菌性能を備えた製品を製造しています。また、欧州の多くの大手ライフサイエンス企業から指定サプライヤーと認められており、国際的なハイエンドバイオメディカルろ材市場における台湾の確固たる競争力を示しています。



2025.3.31 台湾積体電路製造楠梓園區2ナノメートル増産に向けた上棟式

### 台湾積体電路製造、2ナノメートル増産に向けた上棟

台湾積体電路製造は3月31日、楠梓園區において2ナノメートル増産に向けた上棟式を挙行政、行政院の卓榮泰院長は、世界のテクノロジーにおけるブレイクスルーを牽引する重要な節目を自ら見届けました。同拠点の晶圓22廠は、総面積28万平方メートルのクリーンルームを備えています。生産能力を倍増させる計画により、先端プロセスにおける主導的地位をさらに強化し、7,000人以上のハイテク雇用を創出し、台湾の半導体産業の国際競争力を継続的に強化していく見込みです。



2025.6.29 新特第一期工場オフィス棟の上棟式

### 新特第一期工場オフィス棟が上棟

新特系統は、ハイエンドなプローブカード用インターフェースの製造に注力しており、産業界の需要拡大を受け、6月29日、橋頭園區にて第一期工場オフィス棟の上棟式を挙行政、矽創グループにとって半導体テスト産業界への初の進出となる重要な節目を迎えました。新工場の完成後は、台湾の半導体テスト技術の能力がさらに向上し、世界の半導体サプライチェーンに新たな勢いをもたらす見込みです。



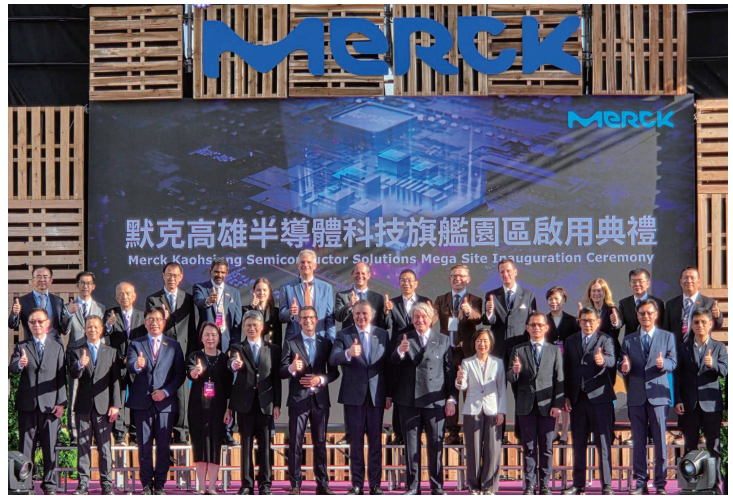
2025.10.16 台湾荏原台南第二工場の上棟

### 台湾荏原第二工場が上棟

台湾荏原は10月16日、台南第二工場の上棟式を挙行政しました。露木聖一董事長が自ら主宰。同工場は着工からわずか1年足らずで上棟が完了し、台南における深耕への自信を示すものとなりました。今後、日本製の設備と台湾のウェハ製造における強力な連携を活かし、半導体サプライチェーンの強靱性をさらに強化するとともに、グローバル展開を拡大していく見込みです。

## メルク拡張新工場を稼働

2021年、ドイツ企業メルクは「向上進撃」計画を発表し、台湾への投資額を170億台湾元積み増すことを決定しました。2023年に高雄園區に電子材料工場を開設したのに続き、2025年12月1日に投資計画の第二段階の第一期工場棟稼働式典が挙行されました。半導体材料分野における世界的リーダーであるメルクは、高雄園區に世界初となる大型半導体材料テクノロジーパークを設立しました。薄膜、パターニング、特殊ガスなどの先端プロセスにおける重要な生産ラインを網羅しており、台湾の半導体サプライチェーンと連携することで、広範囲にわたる産業上のメリットをもたらすことが期待されます。



2025.12.1メルク第二段階投資における第一期工場棟の稼働式典



2025.12.31 宇晨材料工場オフィス棟の上棟式

## 宇晨材料工場オフィス棟の建設計画における上棟

宇晨材料は12月31日に上棟式を挙行し、屏東園區への進出が承認された最初の企業、そして同パークに工場を建設する最初の企業となりました。これは屏東園區の発展にとって非常に重要な意義を持ちます。同社は高度な熱マネジメント材料と液体金属技術に注力し、世界のAIチップ、半導体先端パッケージングなどの産業を支えています。新工場は2026年末までに完工を予定しています。

## 屏東園區、半導体サプライチェーン特区が稼働

「半導体サプライチェーン特区」が5月19日に稼働し、行政院の卓榮泰院長と国家科学及び技術委員会が共同で、南台湾のハイテク産業の新たな章の幕開けに立ち会いました。同特区は、スマート製造、資源リサイクル、テック工場建設に重点を置き、台湾積体回路製造とそのサプライチェーンパートナーを誘致し、強靱な産業クラスターを共同で構築することで、屏東を半導体Sコリドーにおける新たな主要拠点とする狙いです。



2025.5.19 屏東園區の「半導体サプライチェーン特区」稼働式典

## 国家高速ネットワーク計算センターのクラウドコンピューティングセンターが稼働

12月12日、国家科学及び技術委員会は台南園區にて「国家高速ネットワーク計算センターのクラウドコンピューティングセンター」を稼働しました。賴清徳總統が自ら立会い、大規模なAI/HPCコンピューティング能力と国際通信ノードを組み合わせたこの重要な基盤の始動を宣言しました。「AI新十大建設」の重要な構成要素として、同センターは今後、沙崙スマートイノベーションコンピューティングセンターを並行して運用し、南台湾ハイテクコリドーの双核となる原動力を構築し、「人工知能の島」と「均衡ある台湾」という構想の実現を加速させていく見込みです。



2025.12.12 賴清徳總統、国家高速ネットワーク計算センターのクラウドコンピューティングセンターの稼働式典に出席

## 展示会を架け橋に、新たな絆を



2025.1.7 国家科学及び技術委員会TTAブースの開会式、南部サイエンスパークのスタートアップ企業がTeam Taiwanに参加

## Team Taiwan が米国 CES 2025 に登場

1月のコンシューマー・エレクトロニクス・ショー（CES 2025）において、南部サイエンスパークのスタートアップ企業は、国家科学及び技術委員会の台湾テックアリーナ（TTA）「Team Taiwan」に参画し、その卓越したAI研究開発の実力を披露しました。沐谷科技、翔安生醫、鴻躉が主導し、スマート携帯型空気清浄フィルター、モバイル生体信号計測システム、全自動太陽光パネルリサイクル設備など、さまざまなAIソリューションが展示され、この国際イベントを通じて台湾のスタートアップ企業のグローバル市場における認知度を高めました。



2025.6.26 Blueshift Memory社のCEOと南部サイエンスパークの訪問団による記念撮影

## 独英への誘致活動による国際連携の構築

鄭秀絨局長は6月に代表団を率いて独英両国を8日間訪問し、誘致・視察活動を行いました。視察では、Zeiss、MVTec、Blueshift Memory、Edwardsなどの企業へ訪問し、EUVの主要技術、インテリジェントビジョン、半導体製造装置などの主要分野について深い交流を行いました。また、テクノロジー見本市 Automatica 2025への視察を行うことで、AIとスマート製造のトレンドを的確に捉えたことを図りました。今回の訪問は、南部サイエンスパークが世界的なイノベーションのエネルギーと連携し、海外からの投資を誘致する積極的な取り組みとなりました。

## パークの精鋭と共に国際展示会で存在感を発揮

2025年、南部サイエンスパーク管理局は、その強力な産業牽引力と技術統合の実力を発揮し、バイオメディカル、自動化、半導体などの主要分野におけるパークの精鋭企業を率いて、各国際展示会で大きな存在感を示し、AIの産業化と産業のAI化という具体的な成果を披露しました。

7月の「アジアバイオテクノロジーエキスポ」と12月の「台湾ヘルスケアエキスポ」において、南部サイエンスパークは新竹サイエンスパーク及び中部サイエンスパークと二度にわたり連携し、サイエンスパークパビリオンを設置しました。〃 訊聯生技、亞洲基因、亞果、艾克夏をはじめとするパークの主要企業24社は、「AI+バイオ医療クラスターの新局面」と「スマート医療」をメインテーマに、診断試薬、再生医療、デジタルケア、全世代のヘルスケアにおける総合的な成果を展示し、南部サイエンスパークのバイオ医療クラスターにおけるAI応用の卓越した研究開発力と技術力を示しました。

ハイエンド製造では、8月にパーク精鋭企業である態金、克瑪里、高健、榮陞の4社が、「2025台北国際自動化工業大展」に参加し、液態合金ピーニングやターボ機械などの先端技術を展示しました。また、会場に訪れた国家科学及技術委員会の呉誠文主任委員（大臣に相当）に対し、説明やデモンストレーション、意見交換を行いました。9月には、台湾阿美特克、沛科、立創などパーク企業12社が、「テクノロジーコリドー・AIスマート製造」をテーマにした「セミコン台湾2025」に参加し、半導体材料、設備、部品などの展示を行い、両展示会とも南部サイエンスパークのハイエンド製造の実力と技術革新の成果を示しました。



2025.7.24 南部サイエンスパークの企業を率い、2025年アジアバイオテクノロジーエキスポに参加



2025.12.4 国家科学及び技術委員会の呉誠文主任委員（大臣に相当）が、台湾ヘルスケアエキスポのサイエンスパークパビリオンの出展企業を視察



2025.8.20 国家科学及び技術委員会の呉誠文主任委員（大臣に相当）が、台北国際自動化工業大展の南部サイエンスパークブースを視察



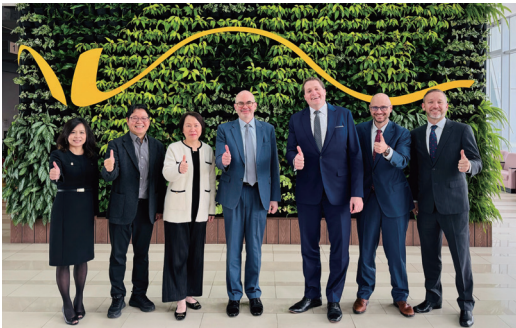
2025.9.12 南部サイエンスパークの企業を率い、セミコン台湾2025に盛大に登場

## 日本での誘致活動によるサプライチェーンの強化

8月には、鄭秀絨局長が自ら陣頭指揮を執り、「研究開発の実施、現地生産、人材育成」を核心とし、川崎重工、日立製作所、三井化学、キヤノン、東京エレクトロンなどの半導体・精密機械大手企業を訪問しました。また、北海道大学の学術部門も訪問し、台湾の先端プロセスの優位性を紹介するとともに、日本企業に台湾への研究開発・製造拠点の設立を促し、半導体サプライチェーンの強靱性を強化しました。



2025.8.26 日本での誘致活動による川崎重工への訪問



2025.2.14 米国在台協会による南部サイエンスパークの訪問



2025.6.10 南部サイエンスパーク管理局の鄭秀絨局長と米国バージニア州経済開発機構のアンティエ・アブショフ（Antje Abshoff）対外投資担当副総裁との会談

2025.7.3 南部サイエンスパーク管理局の鄭秀絨局長とポーランド経済開発技術省のミハウ・ヤロス（Michał Jaros）次官との会談。

## 100を超える外国訪問団を迎え、グローバルなプロモーション活動を展開

2025年、南部サイエンスパーク管理局は、科学技術外交を通じて国際的な影響力を強化し、年間を通じて、国内外から合計108の団体、総勢2,150人以上が訪問しました。訪問団には、米国、欧州、アジアの政府代表のほか、米国在台協会や在台オランダ事務所などの団体組織が含まれ、国内外の訪問団との幅広い交流を通じて、南部サイエンスパークの実力を世界に発信し強化することで、グローバル展開における重要な拠点となることを目指しています。

その一環として、6月には、鄭秀絨局長は米国バージニア州からの代表団を迎え、双方は人材育成、持続可能なエネルギー、主要産業の発展に関する実践的な経験を共有し、台湾と米国のテクノロジー産業における実質的な連携を強化しました。7月には、ポーランド経済開発技術省のミハウ・ヤロス（Michał Jaros）次官を迎え、技術研究開発や国際協力の仕組みについて協議を行い、グローバルサプライチェーンにおける台湾とポーランドの戦略的パートナーシップを強固なものとししました。

一連の国際的な連携を通じて、南部サイエンスパークは台湾の研究開発能力を外交の原動力へと見事に転換させ、世界をリードする南部サイエンスパークの技術力を世界に示しました。



# 2 高度人材が結集し、活力を注ぐ

## 産学医連携、絆を築く

### バイオメディカルリソースを南部へ拡大し、サービス提供能力を倍増

2024年以来、バイオテクノロジーセンターは「南部精密医療産業推進サービスプラットフォームプロジェクト」を受託し、南部サイエンスパークの84社のバイオテクノロジー企業に対し、法規に関するガイダンス、異分野の連携、市場拡大サービスを提供しています。南台湾におけるサービス提供能力を拡大するため、2025年5月13日に南部オフィスを開設しました。これは、研究開発およびマーケティング資源を南部に拡大することを象徴しています。今後は、地域の医療資源との連携を強化し、現場実証と技術統合を促進することで、台湾南部におけるスマートヘルス産業の発展に新たな時代を切り開いてまいります。



2025.5.13 バイオテクノロジーセンター南部オフィスの開所式

### 産学研の連携を促進し、新興テクノロジーの研究開発を奨励

パーク企業の異分野の技術協力を促進し、学界の研究開発能力を活用し、新興テクノロジーの研究開発を促すため、2025年度の「南部サイエンスパーク新興テクノロジー応用プログラム」では10件に対し補助を行いました。対象は精密医療、スマート機械、次世代積層光電技術（次世代積層光電（次世代半導体、先端通信、光エレクトロニクス、コンピュータ及び周辺機器））の3大分野の技術に跨り、補助金の総額は5,021万台湾元に対し、受給企業に研究開発費として約5,952万台湾元の投資を誘発しました。



2025.8.1南部サイエンスパークのスタートアップ企業である新立資訊の南部オフィス開所式でのテープカット

### 南部サイエンスパーク起業工房による新たなスタートアップ誘致とパークの活性化

2025年、南部サイエンスパーク起業工房では、「復癒生醫」、「偵脈科技」、「解智能資料梳理」、「天燈科技」、「新立資訊」、「盈展開發科技」、「緯安醫電」の7社を新たに誘致しました。これらのスタートアップ企業は、バイオテクノロジー、医療、人工知能、サイバーセキュリティ、ドローン技術、先端材料など多岐にわたる分野の技術を有しています。これは、南部サイエンスパークの可能性と時代のトレンドに対応する創造力を示すものであり、さらには南部サイエンスパークに多様な新たな活力を注ぐものとなります。



2025.6.25 南部サイエンスパークのiFlowLabをはじめとする複数のスタートアップ企業が、FITIプロジェクトで高評価を獲得

## 南部サイエンスパークスタートアップが100万円の賞を獲得、グローバル市場への飛躍をサポート

南部サイエンスパーク起業工房は、高雄医学大学の「iFlow Lab」と「優虎生技」の両チームを支援し、国家科学及び技術委員会の2025年FITIプロジェクトにおいて、宏基継承賞と100万円の賞金を獲得しました。また、他の複数のチームも起業潜在力賞を受賞し、南部サイエンスパークのスタートアップ企業の実力の高さを示しました。さらに、8月には「南科LINK來聚匯」というビジネスマッチングイベントが開催され、艾克夏や亞果を含むパークの12社が一堂に会し、資金調達、国際認証、流通チャンネル戦略に関する個別マッチング商談を行い、資源のマッチングと協力を通じて、企業の市場競争力を高め、共に国際市場への進出を図りました。



2025.10.21 AI\_ROBOT自造基地による政府最新支援資源の共有と企業への転換支援

## AI\_ROBOT 自造基地による企業のスマート転換を支援

2025年、AI\_ROBOT自造基地は12のスタートアップ企業とメーカー間の商談を仲介し、技術協力に関する2件の意向書を締結し、技術開発に関する3件の商業受注を実現しました。また、各企業が政府の助成金や補助金資源を獲得できるよう支援しました。当基地は技術交流会や政策説明会を通じて、テクノロジー一応用の事例を普及させ、センサー技術やAIアルゴリズムを活用して、製造プロセスの最適化、品質予測などの面で産業界が重要な進歩を遂げられるよう支援し、他へも展開可能なスマート製造ソリューションを形成しています。さらに、「KISS SCIENCE」などのイベントを通じて、若い世代にも展開しています。

2025年、AI\_ROBOT自造基地は12のスタートアップ企業とメーカー間の商談を仲介し、技術協力に関する2件の意向書を締結し、技術開発に関する3件の商業受注を実現しました。また、各企業が政府の助成金や補助金資源を獲得できるよう支援しました。当基地は技術交流会や政策説明会を通じて、テクノロジー一応用の事例を普及させ、センサー技術やAIアルゴリズムを活用して、製造プロセスの最適化、品質予測などの面で産業界が重要な進歩を遂げられるよう支援し、他へも展開可能なスマート製造ソリューションを形成しています。さらに、「KISS SCIENCE」などのイベントを通じて、若い世代にも展開しています。

## AIと宇宙技術の交流による南台湾における産学連携の促進

9月25日、南部サイエンスパーク管理局、国立成功大学、南部サイエンスパーク産学協会は、「南台湾AI研究開発成果及び技術人材交流会」を共同で開催し、産官学研から約200名の代表者が集いました。このイベントでは、47件のAI技術の成果が紹介され、40件の産学マッチングが成功するなど、南台湾におけるAI社会実装の力強い勢いが十分に示されました。

さらに、南台湾における宇宙技術産業の潜在力を育むため、屏東县政府と連携し、7月と12月に宇宙産業フォーラムを開催しました。両フォーラムには、産官学研の代表者60名以上が参加し、ロケットや衛星産業の発展といった課題について議論が交わされました。屏東園區が、将来的に台湾の宇宙産業の発展を支える重要な原動力となることが期待されています。

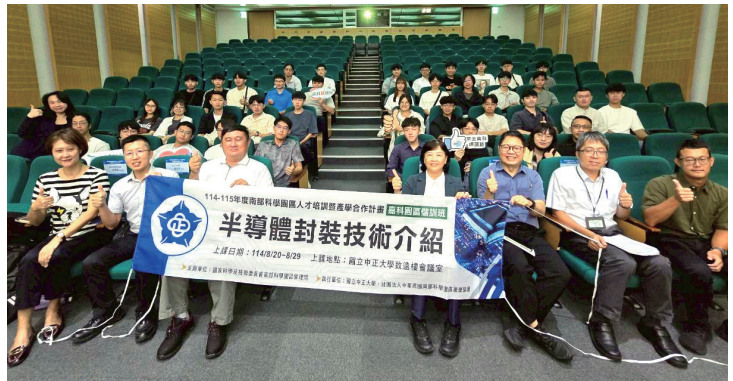
2025.9.25 南台湾AI研究開発の成果と技術人材交流会



## 人材育成、人材確保

### 産学連携による産業人材の育成と確保

嘉義、橋頭、屏東の各新設園區の発展に必要な人材を確保するため、園區の産業発展を主軸に、周辺の大学と連携し、人材育成を行っています。2025年には、半導体パッケージング、精密医療、スマート製造、先端材料、宇宙技術、異分野人材といった主要分野を含む9つの研修コースが開講されました。また、新設パークの企業と周辺の学校との連携を促進し、将来の産業に必要な専門人材の早期確保と育成を推進しています。



2025.8.20 「半導体パッケージング技術入門」コースの開講式

### 産学訓プロジェクトによる高屏地区の産学連携の促進

南部サイエンスパーク管理局は、国立中山大学に「2025-2026年度 南部サイエンスパーク産学訓プロジェクト」の実施を委託しました。2月7日には、高雄園區で「2025年度 南部サイエンスパーク 新年産学人材マッチング茶話会」が開催されました。8つの学校が招待され、パークの17社に対し、各校が人材育成案を紹介しました。産学の代表者約40名が熱心に交流し、産学連携の機会を促進しました。

### 南部サイエンスパーク就業ドリーム・フェスティバル

5月23日、高雄園區にて「2025年南部サイエンスパーク就業ドリーム・フェスティバル」が開催され、産・学・官の各界が一堂に会し、産学交流と人材マッチングの促進を行いました。このイベントには、南部サイエンスパークから18社が採用活動に参加し、また、10校以上の大学から約300名の学生が熱心に参加し、会場は活気に満ちた交流の場となりました。南部地域の若者たちがテクノロジー産業への理解を深められるよう支援し、学生たちが勇気を持って夢を追い求め、南部で夢を実現するよう後押ししています。

2025.5.23 南部サイエンスパーク就業ドリーム・フェスティバル





2025.10.17 「南部サイエンスパークで夢を追う・北部の青年南部で就職」人材募集イベント

## 南部サイエンスパークで夢を追う・北部の青年南部で就職

10月17日、国立台北科技大学および南科産学協会との共催で、「2025年南部サイエンスパークで夢を追う・北部の青年南部で就職」と題した人材募集イベントが開催され、南部サイエンスパークの企業5社が北部へ人材を募集するために招かれました。このイベントには10校以上の大学から200名ほどの学生が熱心に参加し、北部の若者たちが南部サイエンスパークを訪れ、キャリアを切り拓き、夢に向かって挑戦することを期待しています。



2025.8.15 「A+人材！稼げる世界へ」のイベント、帆宣南部サイエンスパーク事業所を訪問した学生たち

## 少年A+！就職環境参観

台湾全土の大学生が、南部サイエンスパークの産業環境や雇用資源についてより深く理解することを目的として、毎年、大学生を対象とした夏季見学会イベントを実施しています。

2025年の「A+人材！稼げる世界へ」では、パークの半導体サプライチェーンを支える瀧能、帆宣、新揚、メルクの各社を訪問しました。また、南科考古館やバイオ医療旗艦館へも訪問し、若手学生と南部サイエンスパークの企業との架け橋となり、産業革新の鼓動を間近で体感できる機会を提供しました。

## 台湾就業通 雲嘉南地区就職博覧会

「2025年雲嘉南地区就職博覧会」が7月に国立成功大学で開催されました。労働部の洪申翰部長、台南市の黄偉哲市長、南部サイエンスパーク管理局の鄭秀絨局長が出席し、政府が人材育成と職場におけるジェンダー平等に高い関心を寄せていることが示されました。緯穎智造、台湾神隆、聯亞科技などパークの7社が積極的に呼応し、400件以上の優良な求人情報が公開され、多くの求職者が詰めかけました。南部サイエンスパークは、地方自治体や学術研究機関との緊密な連携を通じて、多様な人材のマッチングに成功し、パークの産業発展に安定した勢いをもたらしています。



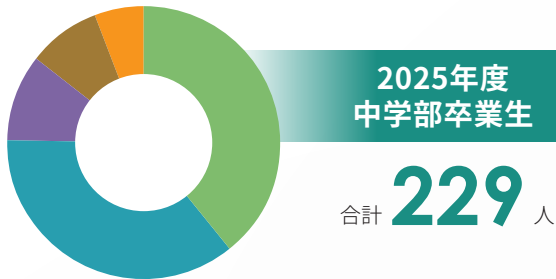
2025.7.26 「2025年台湾就業通 雲嘉南地区就職博覧会」開幕式

## 将来のテクノロジー人材を1000人近く育成補助

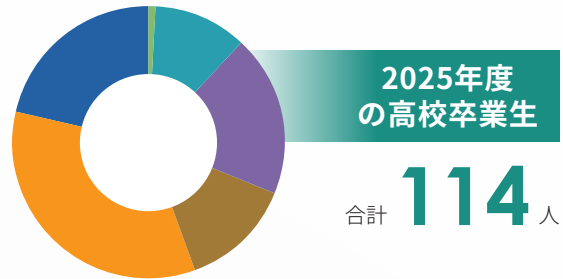
2024年度(2024年7月から2025年8月まで)「サイエンスパーク人材育成補助計画」は計11校の学校を補助する15件のプロジェクトを採択しました。これにより、ハイテク産業の将来の人材を対象とし、学生延べ981人を育成しました。79人がパークの20社の企業で実習に参加し、うち32人が引き続き採用され、学生の資格取得を133件支援しました。また、これにより産学連携、特許権取得等の副次的効果も20件実現しました。

## 根付く学力、卓越した実験中学

### 南科実験中学 2025 年度進学ガイド



- 南科実験中学、国立台南第一高等学校、国立台南女子高等学校 90 人 / 39.3%
- その他の公立高校 83 人 / 36.3%
- 公・私立の情報・工業、商業高校：23 人 / 10%
- 私立高等学校：20 人 / 8.7%
- 高等専門学校とその他 13 人 / 5.7%



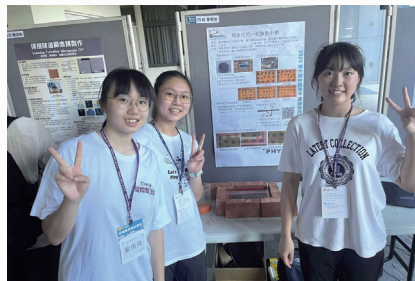
- 海外大学合格 1 人 / 0.9%
- 国立台湾大学、国立清華大学、国立政治大学、国立交通大学、国立成功大学 13 人 / 11.4%
- 国立中央大学、国立中正大学、国立中山大学、国立中興大学：22 人 / 19.3%
- 医療関連部（医学、歯学、薬学、中医学、看護学など）：15 人 / 13.2%
- その他国立大学及び医学関連学科 39 人 / 34.2%
- その他（私立大学、又は未進学）24 人 / 21.0%

### パーク内の各実験中学における豊富な成果

南科実験中学、嘉科実験中学、屏科実験中学は、十二年国民基本教育を深く浸透させ、多様な授業、実践的な探究活動、異分野学習を通じて、学生の多面的な知識と資質を育成し、テクノロジーとイノベーション能力を重視することで、テクノロジーを根付かせ、発展させていくという教育理念を具体的に実践しています。これら3校は、サイエンスパーク、地元企業、大学などの資源を積極的に活用し、学生が語学、音楽、スポーツ、科学などの競技会に参加することを奨励しています。さらには、「GreenMech世界機関王競技会」、「クリエイティブ・メカニズム・コンテスト」、「サイエンス・リトル・メーカー」などの競技会で優れた成績を収めているほか、「FRC国際ロボット競技会」にも参加し、高度な挑戦において実践的な経験を積んでいます。同時に、「全国科学普及列車」にも参加し、科学教育を推進しています。学生が科学普及教師として活動し、学習成果を社会にフィードバックすることで、将来の科学技術人材の育成における科学技術実験中学の教育的価値と影響力を示しています。



2025.8.23 南科実験中学のFRC6998チームが、AMD Impact and Inspiration Awardで1位を受賞。写真は、審査員である教授陣にロボットの設計と実験方法を説明している機構チームの学生



2025.8.22 嘉科実験中学の高校生が、中華民国物理学会主催の論文コンテストで全国1位を獲得



2025.8.15 屏科実験中学のロボットチームが、韓国で開催されたFIRAロボットワールドカップで総合優勝を果たし、個人競技でも1位と2位を獲得

## 異文化理解の深化、グローバルな視野の開拓

南科実験中学、嘉科実験中学、屏科実験中学は、活発な国際交流を行い、国境を越えた教育協力体制を確立し、学生の視野を広げ、国際的な人材を育成し、学生の異文化体験を深め、英語の口頭表現能力を向上させるとともに、姉妹校との長期的な協力基盤を強化し、学校のブランドイメージと国際的な認知度を高めています。



2025.4.20 南科実験中学吹奏楽団は、石川県吹奏楽連盟から招待を受け、同県で開催された2025年友好音楽会の唯一の海外参加団体となりました。



2025.4.18 嘉科実験中学中学部の学生とパキスタン・ハイデラバードのFoundation Public School Autobahn Campusとの交流



2025.6.10 屏科実験中学と米国ワシントン地区との交流、国際的な対話力を着実に育成

## 実験中学の新時代の幕開け、テクノロジー学府の創造

嘉科実験中学は3月25日、校舎新築工事の起工式を執り行いました。校地面積は8.5ヘクタールで、小学校、中学校、高等学校、バイリンガルスクール、幼稚園、体育館、図書館、寮、景観設備、運動場などが含まれます。第一期校舎建設工事は2026年7月に完工する予定であり、全エリアの完工は2028年を予定しています。

高科実験中学は11月10日に開校式が執り行われました。第一期生となる新入生は小学部門67人と中学校部門42人です。新校舎が完成するまでは、一時的に右昌国民中学の校舎を借用しています。また、12月16日には校舎新築工事の起工式が執り行われました。敷地面積は6.53ヘクタールで、幼稚園、小学校、中学校、高校、バイリンガル部、図書館、多目的ホール、体育館、屋根付き運動場、運動場、景観設備などが含まれ、校舎建設工事は2028年5月に完工する予定です。



2025.3.25 嘉科実験中学校舎建設工事の起工式



2025.11.10 高科実験中学の開校記念式典

## 3

## 強固な基盤、サステナブルな未来

## 安全性の向上、働きやすい職場環境

## 労働安全衛生及び環境保護月間、安全・健康・グリーン園區の実現

「労働安全・環境保全月間」は、多様な活動を通じて、パークの強靱性と持続可能性への意識を深く浸透させます。2025年、台南園區は複合災害とドローン対策に重点を置き、対応訓練のリアリティの向上を図りました。高雄園區は、テクノロジーを活用した救助防災力を示し、リモコン式放水銃搭載車やドローンを導入したほか、路竹における高雄秀伝記念病院との連携により、初めて医療資源との連携を行いました。

防災訓練に加え、南部サイエンスパーク管理局はヒガシメンフクロウの生態観察ウォークとサイクリングツアーを企画し、環境教育と健康増進を日常生活に取り入れました。先端技術を活用した災害救援から自然生態系への配慮まで、南部サイエンスパークは官民連携を通じて職場の安全と企業の永続を具体的に実践し、安全で健康的かつ環境に配慮したテクノロジーパークのロールモデルを構築しています。



2025.10.30 台南園區での防災訓練火災時の散水防護（左）、2025年11月15日のサイクリングツアー（右）。

## サイエンスパーク施設管理及び労働安全・環境保全技術セミナー

2025年10月、南部サイエンスパーク管理局とパークの同業組合が「サイエンスパーク施設管理及び労働安全・環境保全技術セミナー」を共催しました。「パークのスマート管理」をテーマとし、水資源、環境の持続、安全衛生など5つの主要分野を結びつけ、論文コンテストと深い意見交換を行いました。本会では、台湾積体電路製造、中鋼、日月光などの企業から専門家を招き、製造工程の最適化やエネルギー管理におけるESGの実践経験が共有されました。産官学研の集合知を通じて、南部サイエンスパークは「高効率・低排出」のグリーン製造モデルの構築を加速させ、スマート化と持続可能なガバナンスにおける世界的な競争力を確固たるものにしていきます。



2025.10.31 2025年サイエンスパーク施設管理及び労働安全・環境保全技術セミナー

## XR シミュレーショントレーニングセンター、高雄から嘉義にまで拡大

労働部及び職業安全衛生署との連携により、高雄園區に「労働安全衛生マルチ体感型エクステンデッドリアリティ(XR)エリア」を設置し、VR、MR等の先端技術を利用して、高所作業車やクレーン操作等のハイリスク作業をシミュレートすることで、労働者は安全な環境でインタラクティブ且つ没入感のある教育訓練を受けることが可能です。これにより、職場の危険察知能力を効果的に高め、労働災害発生の低減を実現しています。さらに、嘉義園區の施工安全を向上させるため、2025年9月、同園區にXRシミュレーショントレーニングセンターが設置され、より多くの作業員がその恩恵を受けられるようになりました。2025年、高雄と嘉義のトレーニングセンターにおいて、合計155回の訓練プログラムが実施され、延べ4,715人が参加しました。



2025.9.19 南部サイエンスパーク管理局の鄭秀絨局長が嘉義園區のXRシミュレーショントレーニングセンターを視察

## 多様な防護体制の推進

2025年、南科実験中学や台南地方檢察署と連携し、AIによるディープフェイク (Deepfake) 技術を用いた詐欺防止啓発キャンペーンを実施するなど、多様な防護活動を積極的に推進しました。専門検察官による事例共有を通じて、青少年のオンラインリテラシーと自己防衛意識の向上に成功しました。保安警察隊は、様々な活動を通じて交通法規の普及や防衛運転を積極的に推進し、法令遵守の意識向上を図っています。パークの建設現場においては、「検査、啓発、指導」の三段構えの戦略を採用することで、事業単位による自主管理と防災体制の整備を促しています。



2025.5.14 南科実験中学における「AIによるディープフェイク技術を用いた詐欺、児童への性的搾取とネット恋愛詐欺の防止」と題した防犯啓発活動

## 2025 年南部サイエンスパーク優秀人材及び優良事業所に対する表彰式

5月には、「優秀従業員」「職場平等」「労働安全衛生」「環境保護」などの、複数の年度賞を初めて統合し、コンサート形式の盛大な表彰式を実施しました。本式典は、「南部サイエンスパークの栄光、永続的な発展」をテーマとしたものであり、48名の優秀人材と17の優良事業所が表彰され、パークのパートナーによる人間中心の配慮、社会的責任、環境保護への卓越した貢献が称えられました。

2025.5.23 2025年南部サイエンスパーク優秀人材及び優良事業所に対する表彰式

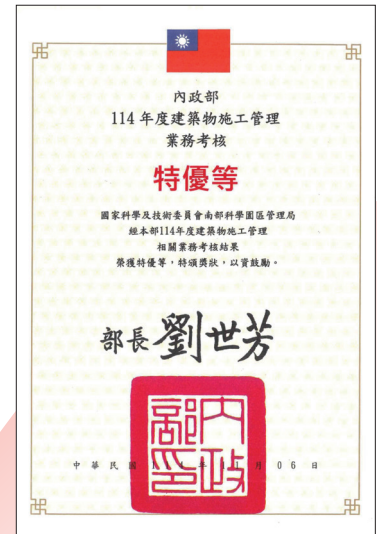


114年南科優良人員暨績優單位表揚典禮

榮耀南科 永續前行

## 建築管理の品質と効率の向上

南部サイエンスパーク管理局は建築管理関連の各評価において極めて高い評価を獲得しました。「2025年度建築物施工管理業務評価計画」、「2025年建築許可および工作物許可許関連管理業務推進状況評価計画」、「2025年建築物公共安全関連業務監督指導評価計画」の3項目の評価で、連続して「特優」という殊栄を獲得しました。今後も建築及び工作物許可の発行効率を向上し続け、審査項目の高度化や建築設計品質の向上を行い、施工管理関連法規の完全性を強化し、施工管理業務の効率を改善するために、建築物公共安全管理制度を実施してまいります。



2025年建築物施工管理業務評価-特優

## 省エネ浄水、低炭素化によるネットゼロの実現

### 汚水処理場が浄水サステナビリティ大賞を受賞

台南園區汚水処理場は、その卓越した汚水処理効率と資源再利用の実績が評価され、環境部から第二回「浄水サステナビリティ賞」を受賞しました。当パークは引き続き節水管理とスマート監視を推進しており、中欣行と緊密に連携して処理プロセスを最適化し、2025年には20.1%の用水回収率を達成し、水資源のリサイクルを具体的に実施しています。今回の受賞は、南部サイエンスパークのスマート管理と省エネルギー戦略における優れた実力を象徴するものであり、運営効率の向上だけでなく、ネットゼロ及び循環型経済の実現に向けた持続的な基盤を強固なものとししました。



2025.3.21 南部サイエンスパーク管理局の李信昌副局長が代表して、環境部から第二回浄水サステナビリティ賞を受賞



### 節水・省エネ・蓄エネによる持続的な共創

南部サイエンスパーク管理局は、水資源および電力資源を産業の基盤とし、パークの企業に対し、節水・省エネ指導プロジェクトを長期にわたり推進してきました。2025年度の指導措置を通じて、年間2800万キロワット時以上の節電と約30万トンの節水を達成できる見込みである、優れた実績を上げています。

世界的なエネルギー転換の潮流に対応し、再生可能エネルギーと蓄エネシステムを積極的に導入し、2025年末までに、パークの太陽光発電設備容量は115MWに達し、41MWのエネルギー貯蔵設備の設置も完了しました。さらに、新規入居企業は、持続可能なグリーンパークを共同で構築するため、一定割合の再生可能エネルギー（再生可能エネルギー証書の購入を含む）を使用することが義務付けられています。

## 聯華電子の循環センターが開幕し、資源再生を推進

12月10日、聯華電子は、台南園區で「循環型経済資源創生センター」の開所式を挙行了しました。同センターは聯華電子が18億台湾元を投じ、自社工場内に建設したものであり、循環型経済に重点を置いた南部サイエンスパーク初となる廃棄物資源化の研究開発拠点となります。開所後は、年間約1万5000トンの廃棄物をリサイクル製品に転換でき、台湾全体の廃棄物削減率を3分の1に引き上げるだけでなく、約1億台湾元のグリーン経済効果も生み出し、半導体産業の循環型経済の実現における具体的な成果を示します。



2025.12.10 聯華電子循環型経済資源創生センターの開所式



創生センターESG企業顕彰ウォール



2025.4.23 仁德再生水プラントの通水式

## 南部サイエンスパーク、再生水の供給量を拡大し、水供給の靱性を強化

経済発展と環境保護を両立するため、再生水資源を積極的に導入し、産業や生活用水の需要逼迫を効果的に軽減しています。4月には、台南市の「仁徳再生水プラント」が正式に稼働を開始し、1日あたり8,000トンの水源を安定的に供給しています。既存の永康と安平の再生水システムを含めると、パーク全体の再生水供給総量は1日あたり6万1000トンへと大幅に増加し、上昇幅は15%となりました。



2025.5.7 ネットゼロへの転換、無限の緑 - 南台湾サステナビリティ行動フォーラム

## 南部サイエンスパーク、官民連携によるカーボンリサイクル技術の推進

2050年までのネットゼロ目標の達成に向けて、5月に南部サイエンスパーク管理局は台南市政府と共同で「南台湾サステナビリティ行動フォーラム」を開催し、産官学研が一堂に会して炭素削減対策について議論を交わしました。気候変動への対応として、南部サイエンスパーク管理局は、「省エネ、創エネ、製造プロセスの改善、カーボンネガティブ、グリーン交通、循環経済」の6つの炭素削減戦略を積極的に推進し、企業の転換を全面的に支援しています。さらに、技術導入を積極的に強化し、カーボンリサイクルのシミュレーション拠点を現地視察し、研究成果の実質的な生産力への転換を推進しています。官民連携と先駆的な研究開発を通じて、低炭素かつ高靱性を兼ね備えた持続可能な産業クラスターを構築しています。

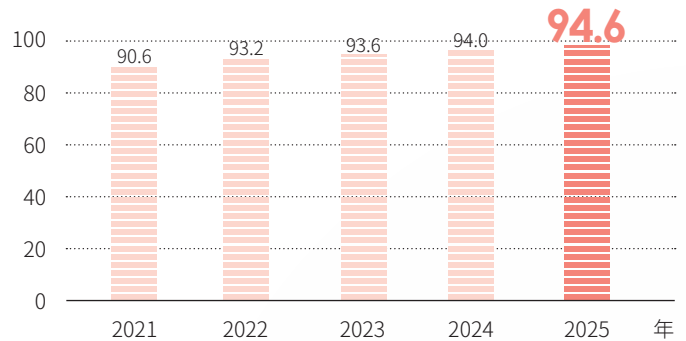
## 産業発展と環境保護を両立し、低炭素で持続可能なパークへ

### 廃棄物資源循環：再利用率が過去最高を記録

南部サイエンスパーク管理局は、「発生源での削減、資源循環」戦略の推進に尽力しており、パークの企業に対し廃棄物のリサイクル価値の向上を支援するとともに、廃棄物を地域内で再生資源へと転換するための資源循環専用エリアの設置を計画しています。2025年、南部サイエンスパークにおける廃棄物の再利用率は94%以上にまで上昇しました。さらに、台湾積体回路製造、聯華電子、群創といったパークの主要企業も、廃棄物を高付加価値製品へと転換するための独自の資源化施設を積極的に設置しています。単一の工場敷地から産業クラスターまで、南部サイエンスパークは、持続可能な資源利用を全面的に実践し、環境負荷を低減した循環型経済のモデルを構築しています。

### 長年にわたる廃棄物の再利用率

単位：%



### 南部サイエンスパークの企業によるESGの実践、地域社会との共生

パークの企業は、ESGの持続可能な目標を積極的に実践し、環境保全、学童へのネットゼロ教育、高齢者介護、社会的弱者への支援など、多様な側面から社会に貢献しています。例えば、群創教育基金会は、学校における「ネットゼロ教育 はじめの一步」サービスを推進し、ネットゼロの概念を学内へ浸透させています。台湾積体回路製造は、ボランティアを通じて「AI入門 科学教育」を推進し、地方における情報格差の解消と地域人材の育成を行うとともに、クラウド上の「サプライヤー・サステナビリティ・アカデミー」を活用して資源を共有し、持続可能な共生を実現しています。



2025.12.8 台湾積体回路製造のボランティアによる高雄市の旗尾小学校での AI 入門科学教育の推進(写真提供元：台湾積体回路製造慈善基金会)

## 環境に優しく、持続可能なサイエンスパーク

### 南部サイエンスパークの優しい緑地によるヒガシメンフクロウの保護

南部サイエンスパーク管理局は、パークの開発過程において地域生態系の保全に配慮し、緑地、公園、遊水池などの空間を活用して一定の保護区を確保しています。この地に生息するコウライキジやツバメチドリなどの生物に生息環境を提供しており、台南園區で約30ヘクタールの生態系保護区域、高雄園區で約146ヘクタールの緑地が設けられています。橋頭園區の開発時には、パークの緑地を草地として保存し、ヒガシメンフクロウの活動と生息に適した止まり木を設置しています。



2024年3月13日と2025年6月2日に橋頭園區で観測されたヒガシメンフクロウの姿

## ヒガシメンフクロウ保全推進チームによる保全共生活動

生態系保全活動の継続的な検討のため、「ヒガシメンフクロウ保全推進チーム」は毎年定期会議を開催するとともに、「生態系保全協力プラットフォーム」を運営しています。開発済みのパークの生態系保全区域や新設園区の生態系保全に関わらず、ヒガシメンフクロウ保全推進チームにより点検や指導が行われ、これらの活動をパーク内に広めることで、企業のESGの参画やOECM認証の取得を促し、開発と保全の両立を目指しています。



2025.11.7 ヒガシメンフクロウの生態教育プログラム終了後、手作りの折り紙帽子をかぶり、メンフクロウの姿を真似る子供たち

### ヒガシメンフクロウの生態教育プログラム：遊びを通じた学び

11月7日、南部サイエンスパークコミュニティセンターの非営利幼稚園でのヒガシメンフクロウの生態教育プログラムにおいて、講師が活発な解説を行うとともに、子どもたちはヒガシメンフクロウのペーパークラフトを制作しました。この遊びを通して学ぶ保全概念は子どもたちの心に深く刻まれました。プログラムの後には、講師は子供たちを連れて手作りのヒガシメンフクロウの折り紙帽子をかぶり、ヒガシメンフクロウの草地での姿を真似て、心ゆくまで走り回りました。こうした体験により、生態系保全の概念を自然に育みました。

## 南部サイエンスパークの環境教育イベント：フィールドワークで体感する生態系の美

11月、南部サイエンスパーク管理局はパークの保全対象種である「ヒガシメンフクロウ」に焦点を当てた環境教育イベントを開催しました。当イベントでは、特別ゲストとして星空のハンター（星空獵手）を手掛けた生態ドキュメンタリー映画監督の許晋榮氏を招き、20年にわたる保全活動の記録が映像を通じて紹介されました。さらに、高雄市野鳥学会の専門家による高雄園区の生態補償生息地「緑21」のガイドが行われ、人工生息地設計の巧みな構想と域外保全の成果について詳細な解説が行われました。屋内でのテーマ共有から永安湿地でのフィールドワークまで、南部サイエンスパークはパートナー企業を自然へと導き、パークが産業開発中であっても、生物多様性を保護し続け、生き物に優しい生息環境を創出するという初心を体現しています。



2025.11.8 ヒガシメンフクロウ保護区におけるフィールドワーク・ガイド



台南園区で観測されたタマシギ

### 鳥類における生態保全の育み

南部サイエンスパークは、産業発展を推進する一方で、生物多様性の保全にも常に尽力しています。例えば、台南園区では、6つの遊水池公園と生態系保護区としての役割も果たす2つの公園を整備し、様々な鳥類への生息地の提供を計画しています。パークの開発以来、ツバメチドリ、アカモズ、コウライキジ、カタグロトビ、カンムリオオタカ、タマシギ、チョウゲンボウ、ハヤブサ、コウライウグイスなどの保護種を含む130種以上の鳥類が発見されています。

## 4

## 深まる文化、豊かな暮らし

## 機能の最適化、設備の革新

## 台南園區南科奇美病院が起工

奇美医療体系は、1999年に台南園區に共同クリニックを開設して以来、サービスをさらに拡大しており、2025年3月には、「南科奇美病院」が正式に起工しました。総投資額39.3億台湾元のこの地域病院は、274床の病床を備え、外来、救急、入院、予防保健、職業医学など全方位の機能を統合する計画です。2029年の運用開始が予定されており、南部サイエンスパークに24時間体制の緊急医療支援を提供し、台南園區の生活機能を完備する見込みです。



南科奇美病院の外観イメージ図

## 高雄秀伝病院による癒し系商圈の創出

高雄園區に位置する高雄秀伝記念病院は、2024年10月から消化器内科や整形外科など33の診療科を提供しており、700床の病床を設置しています。2025年には、常識を覆し、良質なコーヒーの「橘時咖啡」、洗練されたグルメの「萩沢私廚」、ハーブティーの「草字頭草本茶」、専門医療用品の「鼎澄生醫」を統合し、院内に「癒し系生活商圈」を創出しました。これにより、医療空間がより人間味あふれるものになるだけでなく、人々と健康との間により自然なつながりが生まれ、専門性と温かさを兼ね備えた新しい医療の日常の創造を目指しています。

## 温かい託児環境の整備

「働きやすい職場環境」への取り組みを積極的に推進するため、1月に台南市政府と連携し、「南科公設民営乳幼児保育センター」を開設しました。この施設では、パーク内の従業員の0歳から2歳までの子供を対象に、専門的な託児サービスを提供しています。



2025.1.2 台南市政府との連携による南科公設民営乳幼児保育センターの開所



2025.1.17 南科コミュニティセンター幼稚園及び聯苑幼稚園の園児と偶偶偶劇團との記念写真

さらに、パーク内の幼稚園向けに、多様な児童向け文化活動を随時開催しており、人形劇団「偶偶偶劇団」による児童劇の上演では、南科コミュニティセンター幼稚園や聯苑幼稚園の子供たちが、可愛い人形劇を通して、より良好な人間関係の築き方を学ぶことができます。



2025.9.16 南部サイエンスパーク管理局鄭秀絨局長が、「南121線溪埔中路の拡幅および烏橋中路へ接続する新設道路工事」の起工式に出席

## 南部サイエンスパーク外部接続道路、交通最適化に向け起工

パークの継続的な発展に伴い、南部サイエンスパーク管理局は近年、道路の拡幅や交通の流れの最適化などを通じて、パークの外部接続道路の交通状況を大幅に改善しており、ピーク時の交通の流れがよりスムーズになっています。増加する交通需要にさらに対応するため、台南市政府は9月16日に「南121線溪埔中路の拡幅および烏橋中路へ接続する新設道路工事」の起工式を挙行了しました。本工事の完了後には、道路のボトルネックが解消され、周辺の交通渋滞が緩和されるとともに、台南園區の外部接続交通サービスの質がさらに向上することが期待されています。



橋頭園區のシャトルバスが運行開始

## 橋頭嘉義シャトルバスが公共交通機関と接続

橋頭園區と嘉義園區の通勤の利便性向上とグリーン運送の推進を図るため、2025年に橋頭園區と嘉義園區は無料シャトルバスサービスを開始しました。これにより、公共交通機関とパーク内の交通機関が接続され、従業員や訪問者に対し、快適で利便性の高い通勤手段を提供しています。橋頭園區のシャトルバスは高雄橋頭火車站を往復しており、平日定時に計10便が往復しています。嘉義園區のシャトルバスは、平日定時に嘉義高鉄駅を計26便が往復しています。車内では無料Wi-Fiサービスも利用でき、通勤族の利便性と快適性を向上しています。

## 多様なライフスタイル、地域コミュニティとの交流

### 2025 南部サイエンスパーク創立記念兼合同結婚式が盛大に開催

2025年の創立記念イベントが1月11日に開催され、戦鼓の音が響き渡るなか、南部サイエンスパークの一年で最も重要な祝祭に、国家科学及び技術委員会の吳誠文主任委員（大臣に相当）、台南市の葉澤山副市长、南部サイエンスパーク管理局の鄭秀絨局長、家登精密の邱銘乾董事長、パーク同業公会の王永壯秘書長、台湾積体電路製造の王英郎副總經理など多くの各界の賓客が式典に出席し、合同結婚式に参加したパークの66組の新郎新婦を祝福し、その喜びを共有し、同パークの繁栄と発展を祝いました。イベントでは、特別ゲストとしてタレントの李千嬅や芒果醬樂團などが招かれ、華やかなパフォーマンスも披露されました。会場では地元の職人による交流体験、書道家による春聯（お正月の縁起物）の揮毫・配布、DIY教育の推進が行われ、多様なマルシェのブースや、企業による採用活動などが行われ、大変な賑わいを見せました。



2025.1.11南部サイエンスパーク創立記念兼合同結婚式

## スポーツ in 南科熱気とともに開幕

イベント「スポーツ in 南科」が3月22日に盛大に開幕しました。市民へのスポーツの普及と健康意識の向上を目的に、1000人によるウォーキング、バドミントン親善試合、ソフトボール親善試合、子供向けのバランスバイクレースなどが行われ、スポーツ競技、レジャー、家族で楽しめるアクティビティが融合した健康の祭典となり、3000人以上の参加者を引き付けました。2025年には特別ゲストとして、オリンピック金メダリストの李洋選手が招かれ、パークの精鋭たちとバドミントンの親善試合を行いました。さらには、国家科学及び技術委員会の吳誠文主任委員（大臣に相当）が南科杯ソフトボール親善試合で始球式を行い、会場の雰囲気は活気に充ち溢れました。南部サイエンスパーク管理局は、多様なスポーツイベントを通じて健康的で働きやすい職場環境を運営し、ワークライフバランスの理念の実現を推進しています。



2025.3.22 国家科学及び技術委員会の吳誠文主任委員（大臣に相当）による南科杯ソフトボール親善試合での始球式



2025.3.22 1000人によるウォーキングイベントが、号砲とともにスタート



2025.10.18 食農DIY体験イベント

## 農産物マルシェによる南部サイエンスパークへの農産物の直送

2025年4月より、Park17ショッピングモールにて毎月定期的に農産物マルシェを開催しており、2025年には計9回開催されました。地元の小規模農家の販売チャネルの拡大を支援するとともに、パーク内の従業員や近隣住民に新鮮な農産物を提供しています。このマルシェの内容は多岐にわたり、季節の果物や野菜、農産加工品の販売だけでなく、さらには親子連れの家族に人気の食農DIY体験を企画しています。宣伝効果を高めるため、一部の回では南科考古館や台南市政府などの諸機関と連携し、多様なテーマをマルシェに取り入れることで、多くの人々を惹きつけることに成功しました。農産物マルシェは小規模農家の支持を得ただけでなく、パークの生活機能をさらに向上させ、「マルシェ巡り」をパークの新たなレジャーの選択肢として確立し、地域ブランドの認知度を高めただけでなく、小規模農家、商圈、パーク内の企業が三方良しの共栄関係を築くことに成功しました。

## 高雄園區の企業による中秋節の親睦バーベキューパーティー

10月3日、高雄園區で中秋節のバーベキューパーティーが盛大に開催され、パーク内の企業、台湾銀行、保安警察隊、路兒幼稚園が招かれ親睦を深めました。会場では、多種多様なグルメや家族で楽しめるブースが用意され、大人から子供まで約300人が訪れました。温かい月明かりの下、同イベントはコミュニティの交流、パーク内の交流、商店の宣伝を見事に融合させ、中秋の佳節に濃厚な人の温かさを添え、楽しく暖かなひとときを共有しました。



2025.10.3 高雄園區で開催された中秋節のバーベキューパーティー、屋外バーベキュー（左）と屋内ビュッフェ（右）

## クリスマス in 南部サイエンスパーク：愛を灯して迎える 2026 年

「クリスマス in 南科2025」が12月19日に盛大に開催されました。会場には象徴的な高さ15メートルのクリスマスツリーがそびえ立ち、自然の生態系をモチーフにしたイルミネーションとともに「環境と共生」という持続可能な理念を伝えています。当イベントは、南科愛心月（チャリティ月間）と連携し、パーク内の企業や社会福祉団体と協力して公益活動を深め、「地域への配慮、愛を根付かせる」の精神のもと、祝祭の喜びを具体的な社会的影響へと転換させ、パークのパートナーや近隣住民とともに輝かしい2026年を迎えました。



2025.12.19クリスマス in 南科2025、温かなクリスマスと共に楽しみ、パークの企業や公益団体とともにブースを出展し社会貢献活動を実施。



## 文化と歴史の継承、地域社会との共生

### 南部サイエンスパークの外資系企業、媽祖巡礼で台湾文化を体験

4月6日、鄭秀絨局長の主導により、レゾナック、三井艾喜緋、セントラル硝子などの外資系企業の従業員を招いた「2025年南部サイエンスパーク外資系企業 媽祖文化体験イベント」が開催され、世界的な宗教行事「大甲媽祖巡礼」の現地参加を行いました。参加者は南部サイエンスパークから彰化へ、神輿とともに歩みを進め、信者の方々から提供された結縁の軽食を味わいながら、「媽祖巡礼の熱狂」と台湾の人々の温かさを肌で感じました。当イベントは、外国人従業員が台湾文化へ適応し理解を深めることを目的としており、かけがえのない思い出となりました。南部サイエンスパーク管理局は、世界中の人材が文化体験を通じて台湾への理解を深め、台湾での定着意識を高め、友好的で国際的な職場環境の推進を継続しています。



2025.4.6 2025年南部サイエンスパークの外資系企業による台湾媽祖文化体験イベント

### 官民連携による暖かな地域防災

2025年、台風や豪雨といった試練に直面した際、南部サイエンスパーク管理局は卓越した対応力と強靭性を発揮しました。台風通過後、速やかに障害物を撤去し、出勤日の交通路を確保するとともに、パーク企業の発電機を主体的に配置し、近隣の被災自治体の日常に必要な電力を支援しました。7月の豪雨を受け、南部サイエンスパーク管理局は行政院の災害復興任務に積極的に呼応し、联手慧築、眞毅、猛揮、實毅、定誠、鈺通、中華工程の7社の建設会社と連携して、嘉義県中埔郷の災害復興を支援しました。これまでに被災した26戸の修繕を仲介し、特に生活困窮戸に対しては全額を公益目的で負担し、被災家族が一日も早く安定した生活に戻れるよう支援するなど、地域社会への配慮を示しました。



2025年7月の台風ダナス通過後、パークの道路通行を復旧させるため、樹木の撤去作業を行った南部サイエンスパークの緊急救災チーム。



2025.9.19南部サイエンスパーク管理局の鄭秀絨局長、中埔郷の李碧雲郷長、被災住民による復興支援に尽力した建設会社への謝意表明

## 南科考古イベント

南科考古館は、7月1日から11月9日まで、考古遺跡教育推進シリーズである「パーク企業の講習イベント」、「南部サイエンスパーク管理局従業員学習講座」、「旧時代・新玩芸」イベントを開催し、パークの企業と地域住民の方々へ地元の考古文化の推進、教育、宣伝を行いました。活動内容には、石罅の発掘、魚食教育、先史時代の道具を作る粘土DIY、小さな陶器の盆栽DIY、遺跡謎解きなどが含まれ、手作りの楽しさと教育的な意義を兼ね備えています。謎解きゲームを通じて、参加者は実際に遺跡を訪れることで、その現状を理解するとともに、パークのパブリックアート作品に触れる機会となり、遺跡とテクノロジーが共存するパークの特色あるイメージを体感できます。

さらに、南科考古館は、「千年の俯瞰400：西拉雅族へ向かう先住民族考古学」特展を継続し、「千年俯瞰400散策」スタンプラリーイベントを開催しました。また、「ガラス煌く蕙苺のビーズプレスレット」復刻ワークショップや「あなたの西拉雅を織る」クロスステッチ手作り体験を通じて、ガラスビーズ工芸や伝統的なクロスステッチの紋様に触れる機会を提供しました。これにより歴史を生活に取り入れ、参加者を今から500年から300年前の西拉雅文化理解へと導いています。



2025.7.5 WOW！小さな考古学者の石罅発掘体験



2025.8.10 先史時代の人は何を食べる？（魚食教育）

## 新港社芸術文化の饗宴

2025年、新港社地方文化館は、地域文化や異分野アートから伝統工芸まで、10の特別展を開催しました。内容は多様で深みがあり、生活における芸術の多面性を示しています。また、新港社地方文化館は、パークと地域社会をつなぐ架け橋となり、パーク企業の共同参画を促し、芸術を通して友情を育み、地域の物語を探求し続け、芸術交流を促進し、南部サイエンスパークにおける芸術と文化を豊かに花咲かせています。



2025.2.22 南部サイエンスパーク管理局の鄭秀絨局長が、新港社地方文化館で開催された大目降美術学会による会員合同展「蕙心・繪情」のオープニング茶話会に出席

## 5

## 今後の展望

「南台湾新シリコンバレー推進計画」と「AI新十大建設」を継続的に実施し、半導体を核として産業のAI化とAIの産業化を促します。これにより、南台湾のあらゆる産業を牽引し、台湾が「人工知能の島」となるビジョンの実現を加速させてまいります。

## 投資環境の最適化

## 計画通りの工期と品質で拡張工事を推進し、ハイテク産業クラスターを構築

ハイテク産業の発展空間に対する切実な需要に応えるため、南台湾における産業コリドールの構築を進め、台南第三期、橋頭、屏東、嘉義、楠梓、沙崙などのパークにおける新設及び拡張を全力で推進してまいります。製造拠点から「研究開発と設計の中核」へと発展させ、国家レベルのインフラを整備し、産業用地の確保を安定させ、グローバルな競争力を持つ革新的なエコシステムを構築してまいります。

## 優しい包摂的な環境の整備

## 人材の地元定着、地域社会との共栄の実施

学生たちが故郷で夢を描き、家族とともにキャリアを築けるよう、多様で質の高い雇用機会を創出し続け、人材の南部での定着を促進してまいります。また、「地域社会との共栄、生態系との共存」という理念を堅持し、科学的な手法を用いてパークの多様な生態環境を保護してまいります。質の高いハイテク人材の育成と心地よく住みやすい空間を整備することで、人材が安心して身を投じることができ、自然と都市が調和して共存する持続可能な模範パークを築き上げてまいります。

## ネットゼロ循環型経済の推進

## 二軸転換を主導し、2050年のビジョン実現へ

我が国の2050年ネットゼロ政策に合わせて、パークの企業に対し、節水・省エネルギーの実施やエネルギー貯蔵技術の向上を積極的に支援し、デジタルとグリーン二軸転換を推進してまいります。グリーン電力や再生水などのグリーンエネルギーの使用比率を継続的に引き上げ、資源の循環型経済を深化させ、テクノロジーで環境を保護し、持続可能な競争力を持つサイエンスパークを創出してまいります。



# 6

## パークの沿革

- 1
  - 02 ◆台南市政府社会局南科公設民営乳幼児保育センター」が正式に募集を開始
  - 07-10 ◆南部サイエンスパークのスタートアップ企業が、米国のCES 2025に参加
  - 11 ◆南部サイエンスパーク創立記念及び合同結婚式
  - 21 ◆凱舟濾材による橋頭園區本社ビルの起工式
- 2
  - 14 ◆米国在台協会による南部サイエンスパークの訪問
- 3
  - 21 ◆台南園區汚水処理場が、環境部による第二回「浄水サステナビリティ賞」を受賞
  - 21 ◆奇美医療財団法人南科奇美病院建設工事の起工式
  - 22 ◆スポーツ in 南科—1000人によるウォーキング、バドミントン親善試合、ソフトボール親善試合、子供向けのバランスバイクレースなどのイベント
  - 25 ◆国立嘉義実験高級中学新校舎建設工事の起工式
  - 31 ◆台湾積体電路製造楠梓園區2ナノメートル増産に向けた上棟式
- 4
  - 06 ◆2025年南部サイエンスパークの外資系企業による台湾媽祖文化体験イベント
  - 23 ◆台南市の仁徳再生水プラントが正式に稼働を開始し、パークへの再生水資源供給を安定化
  - 26 ◆南部サイエンスパークの農産物マルシェがオープン
- 5
  - 07 ◆ネットゼロへの転換、無限の緑 - 南台湾サステナビリティ行動フォーラム
  - 19 ◆屏東園區の「半導体サプライチェーン特区」稼働式典
  - 23 ◆2025年南部サイエンスパーク就業ドリーム・フェスティバル
  - 23 ◆南部サイエンスパーク優秀人材及び優良事業所に対する表彰式
- 6
  - 10 ◆米国バージニア州代表団が南部サイエンスパークを訪問
  - 22-29 ◆徳英での企業誘致による国際的なハイテク産業の連携を強化
  - 29 ◆新特系統橋頭園區第一期工場オフィス棟の上棟式

- 7**
- 03 ..... ◆ポーランド経済開発技術省の代表団が南部サイエンスパークを訪問
  - 11 ..... ◆屏東县政府と共同で「宇宙産業フォーラム」シリーズ第一回を開催
  - 24-27 ..... ◆パーク企業による2025年アジアバイオテクノロジーエキスポへの参加
- 8**
- 09 ..... ◆スポーツin南部サイエンスパークー南部サイエンスパーク杯親睦球技大会が開催
  - 20-23 ..... ◆パーク企業による2025年台北国際自動化工業大展への参加
  - 24-29 ..... ◆日本での企業誘致による半導体連携と人材育成の推進
- 9**
- 10-12 ..... ◆パーク企業によるセミコン台湾2025への参加
  - 25 ..... ◆南台湾AI研究開発の成果と技術人材交流会
- 10**
- 03 ..... ◆高雄園區による中秋節の親睦バーベキューパーティー
  - 14 ..... ◆在台オランダ事務所が南部サイエンスパークを訪問
  - 16 ..... ◆台湾荳原台南第二工場の上棟式
  - 17 ..... ◆2025南部サイエンスパークで夢を追う・北部の青年南部で就職」人材募集イベント
  - 30 ..... ◆労働安全衛生及び環境保全月間イベントが開催
  - 31 ..... ◆サイエンスパーク施設管理及び労働安全・環境保全技術セミナー
- 11**
- 10 ..... ◆国立高科実験高級中学の正式な開設式
- 12**
- 01 ..... ◆メルク第二段階投資プロジェクトにおける第一期工場棟の稼働式典
  - 03 ..... ◆屏東县政府と共同で「宇宙産業フォーラム」シリーズ第二回を開催
  - 04-07 ..... ◆パーク企業による2025台湾ヘルスケアエキスポへの参加
  - 10 ..... ◆聯華電子循環型経済資源創生センターの開所式
  - 12 ..... ◆国家科学及び技術委員会の台南園區に位置する「国家高速ネットワーク計算センターのクラウドコンピューティングセンター」の稼働式典
  - 16 ..... ◆国立高科実験高級中学新校舎建設工事の起工式
  - 19 ..... ◆2025クリスマス in南科及び愛心月イベント
  - 31 ..... ◆屏東園區初の入居企業「宇農材料」工場オフィス棟の上棟式

# 2025



発行 | 国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局

発行者 | 鄭秀絨

監修 | 李信昌、林秀貞、官嘉明、陳郁良、上官天祥、董俊德

蘇永富、李國宏、張秀敏、曾榮傑、胡嘉鳳、郭秀盆

莊書庭、蔡明輝、陳志偉、林怡慧、陳修平

編集 | 柯婷婷、吳淑順、黃怡婷、古英山、鍾隆昌、才有財

編集主幹 | 周怡祺、李之琦

発行者所在地 | 744094台南市新市区南科三路22号

電話番号 | 06-505-1001

ファックス | 06-505-0470

ウェブサイト | <https://www.stsp.gov.tw/>

デザイン・製作 | 唐潮文創事業有限公司

所在地 | 110台北市信義区基隆路一段432号6階

電話番号 | (02) 2345-5882

ファックス | (02) 2345-9882

政府出版物統一コード | GPN2011100008

発刊日 | 2026年3月

創刊日 | 2004年4月



2025



国家科学及び技術委員会南部サイエンスパーク管理局  
Southern Taiwan Science Park Bureau, National Science and Technology Council  
744094台南市新市区南科三路22号 <https://www.stsp.gov.tw/>  
Tel : 886-6-505-1001 Fax : 886-6-505-0470

政府出版物統一コード：GPN 4811100002